

---

### 【3】団体パートナー発行の雑誌から

---

#### ■『Visions』第12巻1号 通巻12号（2023年1月） 跡見学園女子大学文学部

##### <特集／VTuberの未来を創る26人の仕事>

跡見学園女子大学の富川ゼミの学生たちが制作している『Visions』は、2010年10月に創刊して以来、毎年発行を続けています。12号目となる最新号で取り上げられているのは、VTuber（バイチューバー）を支える人たちです。編集を担当された跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科4年の加賀日菜子さんが、最新号について思いをつづってくれましたので、ご紹介します。

\*\*\*\*\*

#### 2023年版『Visions』概要と制作から学んだこと

\*\*\*\*\*

『Visions』は、跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科の専門科目「ライティング特殊演習」の授業課題として作成する雑誌である。その編集者はこの「ライティング特殊演習」を履修した3、4年生だ。毎号「現代文化表現学科の学生が将来目指したいクリエイティブな仕事紹介」をコンセプトとして特集を組み、本学科の学生や本学への入学を目指す高校生に向けて3000部が発行される。第12号目となる2023年版では、27名の学生が富川淳子教授の指導のもと、プロのデザイナーやカメラマンと組んで20ページにわたる1冊を製作した。

今年度の特集は『VTuberの未来を創る26人の仕事』として、VTuberの活動の可能性を広げるエンターテインメント事業を展開する「ClaN Entertainment」へ取材を行った。VTuberとは、インターネット上で自分の分身となるキャラクターを使って動画投稿や生配信を行うYouTuberのことである。今日、VTuberはインターネット上のみに留まらず、TVなどにも活躍の場を広げている。私たちは「ClaN Entertainment」の事業に携わる26名へ取材を行い、その仕事やVTuber事業への思いなどを伺った。

『Visions』制作では履修者全員が雑誌作りのすべてのプロセスを担当する。私もラフレイアウト作成やレイアウト回し、インタビュー、記事の執筆や校正を行った。デザイナーやカメラマンといったプロの方々と仕事をすることで、社会人としてのマナーや仕事への責任感を身につけることができた。原稿の執筆では言葉で伝えることの難しさを痛感し、より伝わりやすい文章になるように何度も書き直した。自ら考え、責任を持って1冊の本を完成させた達成感は何ものにも代え難い貴重な経験だ。この1冊が読者の未来を創るきっかけになれば幸いである。

跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科4年

加賀日菜子

\*\*\*\*\*